

統計調査ニュース

平成30年(2018)11月

No.384



明治150年 統計の偉人たち ～大隈重信と統計組織の変遷～

総務省統計局長 千野 雅人

今年、平成30年は、明治元年(1868年)から数えて満150年に当たります。

これを記念して、統計局では、「明治150年 統計の黎明とその歴史」と題し、明治期の統計の偉人や政府統計の歩みをわかりやすく整理し、統計資料館に記念展示するとともに、統計局ホームページの特設サイトに掲載しました。面白いので、ぜひ、ご覧ください。

明治期の統計の偉人として取り上げたのは、大隈重信、杉亨二、森鷗外、福澤諭吉、原敬の5名です。ここでは、このうち大隈重信について、ご紹介します。

大隈重信は、明治政府で活躍して内閣総理大臣となった偉大な政治家であり、また、早稲田大学の創立者として知られています。そして、実は、大隈は、初代の「太政官統計院長」でもあったのです。(太政官とは、立法・行政などの機能を持つ政府の最高機関)

統計局の歴史は、明治4年(1871年)に設立された「太政官

正院 政表課」に始まります。この政表課の大主記を務めたのが、杉亨二です。初代統計局長と言うとわかりやすいと思います。

この10年後の明治14年に、明治政府の参議(現在の国務大臣に相当)であった大隈重信が、統計組織の強化を求めて「太政官統計院」の創設を建議します。これにより、政表課は、その規模を拡大させて統計院となり、大隈は、自ら初代の統計院長に就任するので、太政官統計院長は、現在風に言うと、国務大臣・内閣統計長官といった感じでしょうか。

しかし、その後起こった政変により、大隈は、統計院長も参議も辞し、政府から追放されてしまいます。

大隈が政府から離れていた明治18年(1885年)に内閣制度が発足すると、太政官統計院は「内閣統計局」となりますが、明治26年には「内閣統計課」となり、内閣の一つの課に縮小されてしまいました。

しかし、その後、大隈が政府に復帰し、明治31年に内閣総理大臣に就任すると、その同じ年に、統計課の役割は強化され、「内閣統計局」として復活するのです。

このように、明治期の統計組織の変遷・機能強化には、大隈重信が深くかかわっています。

さらに、大隈は、大正3年(1914年)に再び内閣総理大臣に就任すると、国際的な視点も含めて統計の発展を求める、次のような内閣訓令を発しています。

「…局に当る者、益々力を統計の事に致し、堪能の吏員をして之を掌らしめ、…務めて統計の進歩改善を図り、以て国務の実用に資せむことを望む。

大正5年5月10日

内閣総理大臣伯爵 大隈重信

明治期の偉人たちの統計にかけ熱い思いを胸に刻み、役に立つ正確な統計の作成に努めていきたいと思ひます。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

目次

| | |
|------------------------------|---|
| 明治150年 統計の偉人たち～大隈重信と統計組織の変遷～ | 1 |
| 平成29年就業構造基本調査の結果から② | 2 |
| I「2018年度 統計関連学会連合大会」に参加して | 4 |
| II「経済統計学会 第62回全国研究大会」に参加して | 5 |
| 「平成30年秋の叙勲」 | 5 |
| 第66回統計グラフ全国コンクール入選作品決定 | 6 |

| | |
|---------------------------|----|
| 統計研修生募集の御案内 | |
| －平成30年度第4四半期(平成31年1～3月)－ | 8 |
| 12月4日開講!「誰でも使える統計オープンデータ」 | 9 |
| 第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」 | |
| の受賞団体の決定 | 10 |
| 中核市発とうけい通信⑤ | 11 |

平成29年就業構造基本調査の結果から②

9月号に引き続き、平成29年就業構造基本調査結果の概要を紹介します。

就業構造基本調査は、国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に、昭和31年から昭和57年まではおおむね3年ごと、昭和57年以降は5年ごとに実施しています。平成29年就業構造基本調査は、全国の約52万世帯（15歳以上の世帯員約108万人）を対象に平成29年10月1日現在で実施しました。

I 「非正規の職員・従業員」に占める就業調整（収入を一定の金額に抑えるための就業時間・日数の調整）をしている者の割合は26.2%。男女別にみると、男性は14.2%、女性は31.7%となっています。

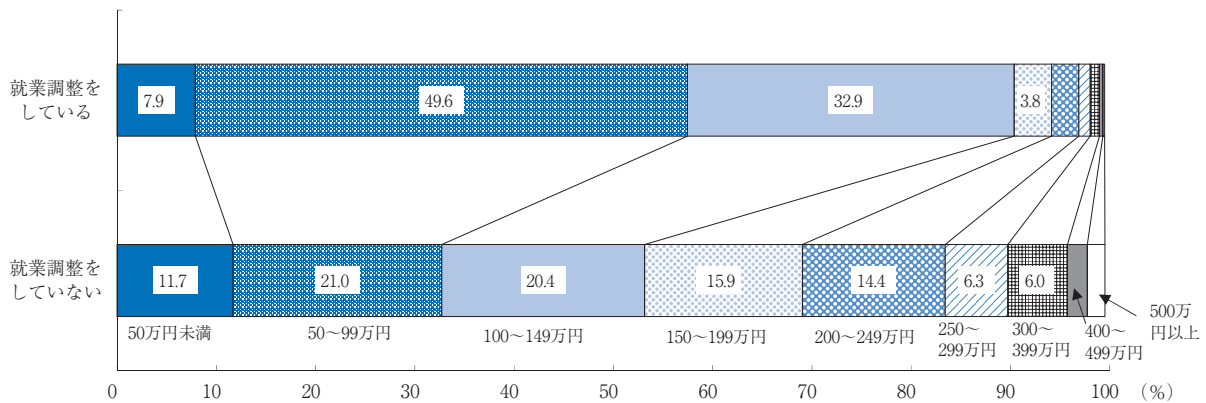
表1 男女、就業調整の有無別非正規の職員・従業員の割合—平成29年

(千人, %)

| 就業調整の有無 | 実数 | | | 割合 | | |
|---------|----------|-----------|------------|-------|-----------|------------|
| | 総数 | 就業調整をしている | 就業調整をしていない | 総数 | 就業調整をしている | 就業調整をしていない |
| 男女 | | | | | | |
| 総数 | 21,325.7 | 5,585.7 | 14,762.3 | 100.0 | 26.2 | 69.2 |
| 男 | 6,677.6 | 949.4 | 5,357.3 | 100.0 | 14.2 | 80.2 |
| 女 | 14,648.0 | 4,636.3 | 9,405.0 | 100.0 | 31.7 | 64.2 |

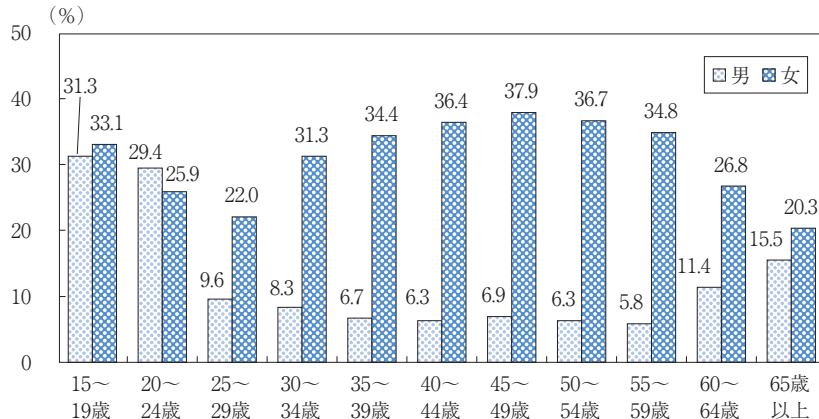
II 所得階級別にみると、就業調整をしている者の8割強が50～149万円

図1 所得階級、就業調整の有無別非正規の職員・従業員の割合—平成29年



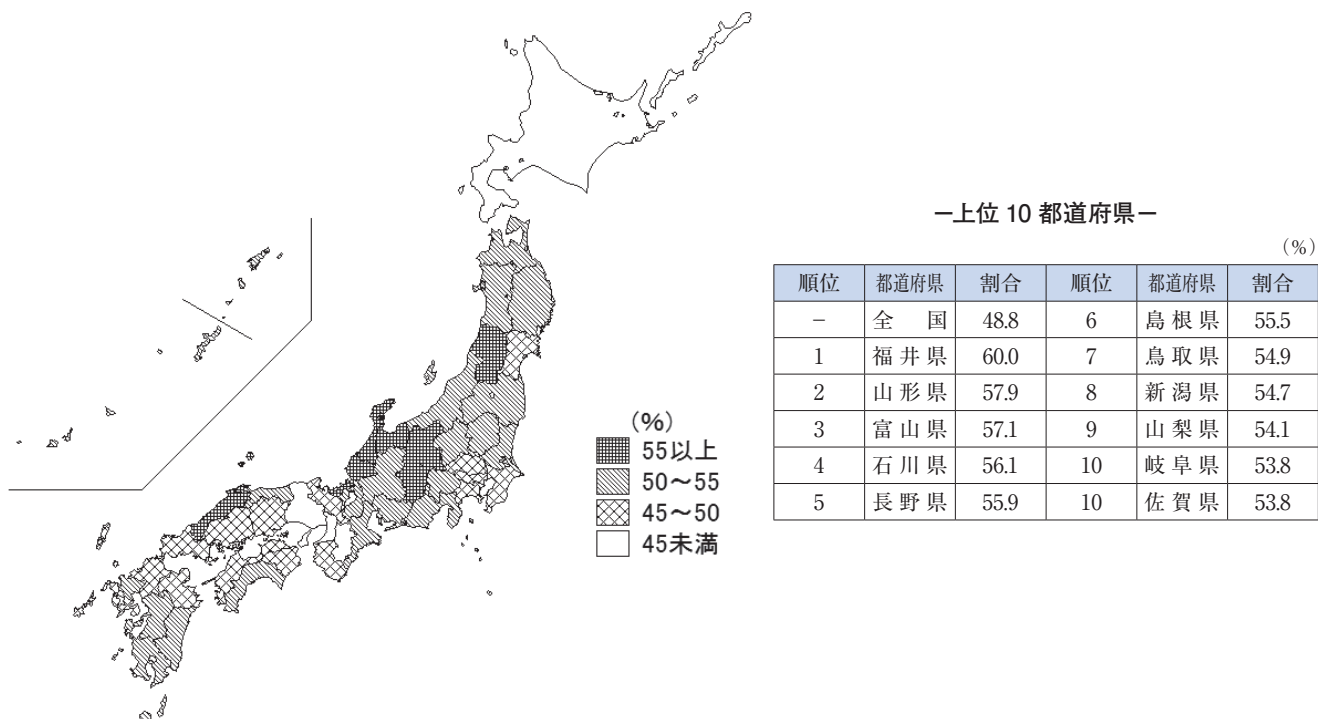
III 年齢階級別にみると、男性は「15～19歳」、女性は「45～49歳」で就業調整をしている者の割合が最も高い

図2 男女、年齢階級別非正規の職員・従業員に占める就業調整をしている者の割合—平成29年



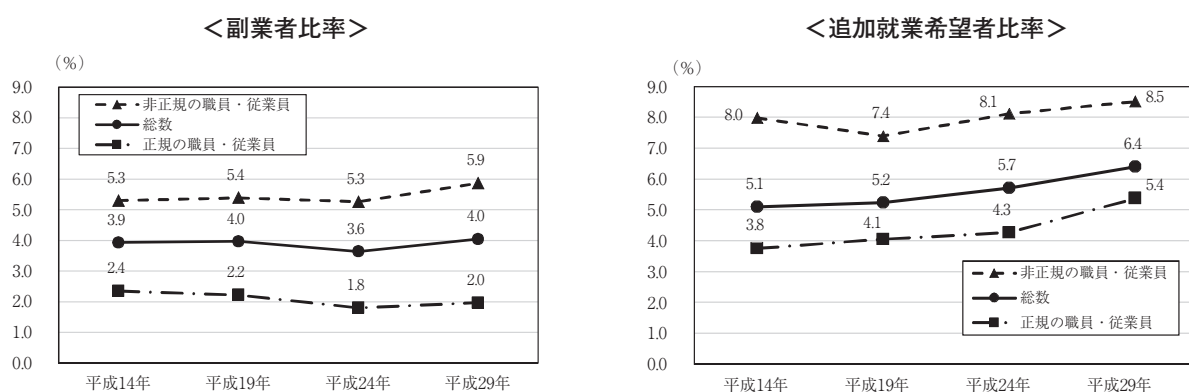
Ⅳ 夫婦共働き世帯の割合が高いのは福井県、山形県、富山県など

図3 都道府県別夫婦共働き世帯の割合—平成29年



Ⅴ 有業者に占める副業がある者の割合は4.0%，追加就業希望者の割合は6.4%

図4 雇用形態別副業者比率及び追加就業希望者比率の推移—平成14年～29年



注) 「追加就業希望者」とは、現在就いている仕事を続けながら、他の仕事もしたいと思っている者をいいます。

◆ 「平成29年就業構造基本調査」の詳しい結果については、次のURLを御参照ください。
<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index.html>

統計局、政策統括官（統計基準担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の学会に団体会員として加盟し、大会での発表を中心に積極的に参加しています。

平成30年9月に統計関連学会連合大会及び経済統計学会が開催されましたので、その概要を紹介します。

I 「2018年度 統計関連学会連合大会」に参加して

平成30年9月9日（日）から9月13日（木）にかけて、中央大学後楽園キャンパスにおいて、2018年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会の主催、中央大学の後援により開催されました。

今年度は、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

9月10日（月）13:00～15:00 公的・民間統計（1）

- 統計データの二次的利用における統計センターの取組
岡田 茂雄（（独）統計センター）
- マイクロデータにおける攪乱的手法の有効性に関する比較研究
吉武 透（（独）統計センター）、伊藤 伸介（中央大学）、
菊池 亮（NTTセキュアプラットフォーム研究所・（独）統計センター）、阿久津 文香（総務課）

9月10日（月）15:30～17:30 データリレーション&マッチング：データベース結合の方法論と実践

- ロジックモデルを用いた複数企業データベースの結合方法
高部 勲（調査企画課・総合研究大学院大学）、
山下 智志（統計数理研究所）
- 異時点の経済センサスをリンケージした情報に基づく事業所の廃業・事業転換
高橋 雅夫（（独）統計センター）

9月10日（月）15:30～17:10 公的・民間統計（2）

- 匿名データ作成のための最適な境界値：経済統計データに基づく実証分析
千葉 亮太、白川 清美（一橋大学）、阿部 穂日（（独）統計センター）
- データ融合の手法に基づく全国消費実態調査の年平均値の推定
柴田 卓也、落合 牧子（消費統計課）、星野 崇宏（慶應義塾大学）

9月11日（火）10:00～11:40 公的・民間統計（3）

- 政府統計の所得集計データからの相対的貧困率の推定
周藤 純（（独）統計センター）

9月11日（火）13:00～15:00 公的・民間統計（4）

- 労働力調査における外れ値対応の試み
小田 大輔、白松 千明（労働力人口統計室）
- 我が国における勤務間インターバルの状況－社会生活基本調査からわかること－
石井 竜太（経済統計課）、長尾 伸一（（独）統計センター）、永井 恵子（国勢統計課）、野村 大輔（労働力人口統計室）

9月12日（水）10:00～12:00 経済・経営統計（2）

- ネット通販価格の取集及び価格指数の作成に関する分析
武井 大、今川 孝博（物価統計室）

9月12日（水）15:30～17:30 特別企画セッション「データサイエンスの展望」

- 公的統計分野におけるデータサイエンス力強化支援の取り組み
椿 広計（（独）統計センター）

9月12日（水）15:30～17:30 統計教育

- 座長：伊原 一（（独）統計センター）
- 一般用マイクロデータ就業構造基本調査版～擬似標本データによる統計演習例～
伊原 一、北林 三就（（独）統計センター）、
滝澤 有美（調査企画課）



集合写真（中央大学後楽園キャンパス
5号館 5334 教室にて）

Ⅱ 「経済統計学会 第62回全国研究大会」に参加して

平成30年9月10日(月)から9月12日(水)にかけて、和歌山県民文化会館等において開催された経済統計学会第62回全国研究大会では、以下のテーマについて発表講演を行いました。(敬称略)

9月10日(月) 12:50～14:50 日本の統計史を考える

コーディネータ・座長：小林 良行(統計研究研修所)

- 我が国の産業分類の変遷～戦前から戦後、そして現在～
岩橋 正樹(政策統括官(統計基準担当))

9月10日(月) 16:30～18:30 データ利活用推進のための取組と今後の課題

- 統計データ利活用センターの活動について
谷道 正太郎(統計データ利活用センター)

9月11日(火) 9:20～10:50 生産物分類

- 我が国の生産物分類策定の展望
植松 良和, 永井 一郎, 坂田 大輔
(政策統括官(統計基準担当))

9月11日(火) 9:30～12:00 一般報告

- 諸外国における統計調査の欠測値補完方法の動向と手法の体系について
坂下 信之(統計研究研修所)

9月11日(火) 13:30～15:30 統計改革に関する動向について

コーディネータ・座長：谷道 正太郎(統計データ利活用センター)

- 統計法の改正－調査票情報の二次的利用を中心として－
大浦 修(政策統括官(統計基準担当))
- 消費者物価指数における借家家賃の経年調整について
中村 英昭(物価統計室)
- 消費動向指数(CTI)及び消費動向指数研究協議会の取組状況
杉田 貴司, 櫻井 智章(消費統計課)
- 公的統計マイクロデータ, POSデータ等を用いた消費動向の分析
高井 勉, 武藤 杏里, 山下 雅代((独)統計センター)



集合写真(和歌山県民文化会館小ホールロビーにて)

「平成30年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、11月7日に東京プリンスホテルにおいて伝達式を行い、総務大臣から受章者に勲章を伝達しました。また、受章者は伝達式後、皇居において天皇陛下に拝謁しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

| 【勲章受章者】 | ※敬称略 | 矢島 貢 | (群馬県) | 大瀬 耕二 | (三重県) |
|---------|-------|--------|--------|--------|--------|
| ○瑞宝双光章 | | 羽田野 公子 | (埼玉県) | 若山 洋子 | (三重県) |
| 藤本 末義 | (香川県) | 川藤 博子 | (埼玉県) | 森 智恵子 | (滋賀県) |
| ○瑞宝単光章 | | 篠田 利男 | (千葉県) | 白石 健次 | (大阪府) |
| 山川 久四郎 | (北海道) | 市川 幸代 | (千葉県) | 日下 千鶴子 | (大阪府) |
| 山口 裕司 | (北海道) | 仁神 育次郎 | (東京都) | 田島 昭子 | (大阪府) |
| 斗沢 修一 | (青森県) | 古尾谷 均 | (東京都) | 佐伯 規矩子 | (兵庫県) |
| 中里 フミエ | (青森県) | 貞廣 朱美 | (神奈川県) | 向山 純江 | (和歌山県) |
| 小野寺 明 | (岩手県) | 宗形 美智子 | (神奈川県) | 森岡 稔 | (岡山県) |
| 寺井 清 | (岩手県) | 佐藤 和子 | (新潟県) | 田浦 博 | (岡山県) |
| 佐々木 明光 | (宮城県) | 平田 ヒロ子 | (新潟県) | 大島 衛 | (広島県) |
| 佐藤 悦子 | (宮城県) | 森田 正勝 | (富山県) | 五反田 寧子 | (広島県) |
| 柴田 禮子 | (秋田県) | 松尾 幸江 | (石川県) | 松下 幸子 | (香川県) |
| 伊藤 まゆみ | (山形県) | 山下 明美 | (福井県) | 木村 洋子 | (愛媛県) |
| 佐藤 誠司 | (福島県) | 松下 由江 | (長野県) | 坂本 信井 | (高知県) |
| 三津谷 郁男 | (福島県) | 友納 千代子 | (岐阜県) | 鬼木 美智子 | (福岡県) |
| 内田 俊子 | (茨城県) | 高橋 照子 | (静岡県) | 築地 宣子 | (佐賀県) |
| 阿部 功 | (茨城県) | 番場 充代 | (愛知県) | 永井 惟成 | (熊本県) |
| 篠崎 令子 | (栃木県) | 大谷 衣代 | (愛知県) | 岩久 まゆみ | (大分県) |

第66回統計グラフ全国コンクール入選作品決定

総務大臣賞は、愛知県立豊野高等学校3年生
島 朋香さんの作品

18歳の私達が拓く未来！選挙に行こう

【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されています。公益財団法人統計情報研究開発センターが主催する第66回統計グラフ全国コンクールは、総務省、文部科学省等の関係機関が後援及び協賛して実施されました。

【審査経過】

第66回目を迎える本年度は、全6部門に、全国の小・中学生から一般の方々まで、計27,594作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ね

た第1次審査、総務省職員等による第2次審査を経た後、統計グラフ全国コンクール最終審査会（審査委員長：渡辺美智子慶應義塾大学大学院教授）において、部門別に特選6作品が決定されました。

さらに、各部の特選作品から、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」、「日本統計学会会長賞」、「日本品質管理学会賞」、「金丸三郎賞」及び「石橋信夫賞」を決定しました。

【表彰式等】

「総務大臣賞」を始めとする各種受賞作品は、平成30年11月19日（月）、東京都渋谷区国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールで開催される「第68回全国統計大会」において、表彰式が行われました。

平成30年度 総務大臣賞及び文部科学大臣賞

【総務大臣賞】

18歳の私達が拓く未来！選挙に行こう

【第5部（高校生以上の生徒、学生及び一般）特選作品】



愛知県立豊野高等学校3年生
島 朋香（はた ともか）さん

【文部科学大臣賞】

小学生のにもつのおもさ

【第1部（小学校1年生及び2年生の生徒）特選作品】



福岡県福岡市立愛宕小学校2年生
江見 一夏（えみ いちか）さん

特別賞及び特選作品

【日本統計学会会長賞】

高校合格は寝てつかみとれ！睡眠とスマホ・携帯の影響

〔第4部(中学校の生徒)特選作品〕

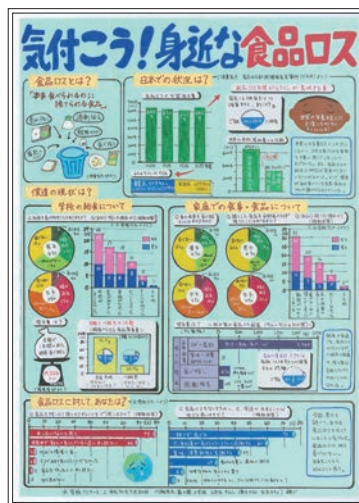


埼玉県埼玉大学教育学部附属中学校
竹内 花奈(たけうち はな)さん

【日本品質管理学会賞】

気付こう！身近な食品ロス

〔第3部(小学校5・6年生)特選作品〕



埼玉県川越市立霞ヶ関小学校6年生
高橋 慧(たかはし けい)さん

【金丸三郎賞】

ぼうしの涼しさくらべ

〔第2部(小学校3・4年生)特選作品〕

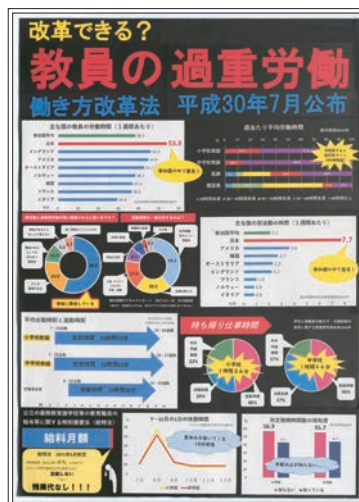


東京都聖ドミニコ学園小学校4年生
秋山 詞美(あきやま ことみ)さん

【石橋信夫賞】

改革できる？教員の過重労働

〔パソコン統計グラフの部(小学生の児童以上)特選作品〕



岐阜県大垣市立西中学校2年生
中西 美来(なかにし みら)さん

【作品の展示】

これらの入選作品は、「統計の日」関連行事の一環として、10月20日(土)～21日(日)に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した「統計データ・グラフフェア」において展示されました。

また、作品の表彰式を行う「第68回全国統計大会」(11月19日(月)、国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホールにて開催)の会場においても展示されました。

なお、各都道府県の統計グラフコンクールにおける入選作品は、各都道府県の展示会にて展示される予定です。



統計データ・グラフフェアでの展示状況

▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

—平成30年度第4四半期（平成31年1～3月）—

統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象に様々な研修を実施しており、現在、平成30年度第4四半期の統計研修生を募集していますので、研修の概要を御紹介します。

今回募集する研修内容等の詳細については、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付している「統計研修の募集要項」又は統計研究研修所のホームページを御覧ください。【<https://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.html>】

統計研究研修所ホームページでは、一部の科目の「講義計画書（シラバス）」を掲載していますので、受講に当たっては、「講義のねらい」や「受講に必要な基礎知識等」などを参考にしてください。

◇ 統計入門課程 「統計実務者向け入門（1月）」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 50名】

- ▶ 研修概要 ・統計の初歩と、統計調査の企画設計・実施などの実務的な基礎知識を学び、演習を行う
- ▶ 研修期間 平成31年1月17日（木）～1月18日（金）
- ▶ 応募締切 平成30年11月30日（金）
- ▶ 研修科目 統計グラフの基礎、記述統計入門、統計調査入門

◇ 統計専門課程 「産業連関表の作成・分析」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《5日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 ・産業連関表作成の仕組み、地域産業連関表作成の方法と演習など
・産業連関表の知識と分析手法を演習・実例で学ぶ
- ▶ 研修期間 平成31年1月21日（月）～1月25日（金）
- ▶ 応募締切 平成30年11月30日（金）
- ▶ 研修科目 産業連関表の仕組み、地域産業連関表の作成、地域産業連関表の作成演習、産業連関表（全国表・地域表）の概要、産業連関表の考え方、産業連関表を用いた分析事例

◇ 特別コース 「ビッグデータ入門」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《1日》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 ・公的統計におけるビッグデータ、民間のビッグデータの現状、事例等を紹介
- ▶ 研修期間 平成31年1月30日（水）
- ▶ 応募締切 平成30年12月10日（月）
- ▶ 研修科目 ビッグデータの概要、ビッグデータとパーソナルデータ、ビッグデータの活用事例と分析方法、ビッグデータを身近に活用する方法

◇ 特別コース 「ビッグデータ利活用」 新規講座

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《1日》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 ・ビッグデータを活用する際の注意点、情報処理の方法等、より実践的な内容を学ぶ
- ▶ 研修期間 平成31年1月31日（木）
- ▶ 応募締切 平成30年12月10日（月）
- ▶ 研修科目 ビッグデータの活用事例を基に、その活用方法及び個人情報保護の取扱い方法等、より実践的な内容を紹介

◇ 統計専門課程 「マイクロデータ分析 - Rによる統計解析 -」

プログラミング又は統計解析ソフトのスキプトの作成経験がある職員を対象とした課程

《4日間》【募集人数 30名】

- ▶ 研修概要 ・マイクロデータの分析のための知識と技術を学ぶ
・擬似マイクロデータを用いた演習
※ 統計解析ソフトRを利用
- ▶ 研修期間 平成31年2月5日（火）～2月8日（金）
- ▶ 応募締切 平成30年12月17日（月）
- ▶ 研修科目 統計解析ソフトウェアRとマイクロデータ分析の基礎、標本抽出法と標準誤差の評価、マイクロデータ分析の実際

◇ 統計入門課程 「統計利用者向け入門（2月）」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《3日間》【募集人数 50名】

- ▶ 研修概要 ・統計の初歩と、データのまとめ方や主要統計指標の見方など、実際の統計データによる利活用の基礎知識を学び、演習を行う
- ▶ 研修期間 平成31年2月13日（水）～2月15日（金）
- ▶ 応募締切 平成30年12月17日（月）
- ▶ 研修科目 統計の定義・分類、e-Statの利用、地図で見る統計（統計GIS）、統計グラフの基礎・作

成, 統計学入門(記述統計), 農林水産省及び経済産業省の統計の見方・使い方, 人口問題と人口統計, 雇用・失業問題と労働統計, 景気動向と消費・物価統計

◇ 統計基本課程 「GISによる統計活用」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要
 - ・GIS(地理情報システム)を用いた統計データの可視化と活用の手法を学ぶ
 - ・ビッグデータによる分析事例も紹介
- ▶ 研修期間 平成31年2月21日(木)～2月22日(金)
- ▶ 応募締切 平成30年12月28日(金)
- ▶ 研修科目 GISの概要, GISの活用事例, QGISの基本, QGISの演習

◇ 特別コース 「実務に役立つ統計作成技術」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

※ 統計を実際に作成する, 欠測値補完などの実務に携わる方の受講を想定しています

《1日》【募集人数 30名】

- ▶ 研修概要
 - ・欠測値とは? 補完のための統計技術とは?
 - ・実務に活かすための統計作成技術を学ぶ
- ▶ 研修期間 平成31年2月28日(木)
- ▶ 応募締切 平成30年12月28日(金)
- ▶ 研修科目 欠測値補完の概要, 統計における「外れ値」の処理, 欠測値補完技術とは, 統計の品質管理とは

〈お問合せ先〉

統計研究研修所研修企画課企画係
TEL 042-320-5874
FAX 042-320-5825
E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

12月4日開講! 「誰でも使える統計オープンデータ」

将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として, データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を12月4日(火)から開講します。

本講座は, 政府統計の総合窓口であるe-Stat, 総務省及び独立行政法人統計センターが提供する統計GIS, API機能等を使い, 統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。

【講義内容】

- 第1週: e-Stat[※]を使ったデータ分析
e-Stat[※]の統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ
 - 第2週: 公的統計データの使い方
公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ
 - 第3週: 統計GIS[※]の活用
統計データと地図を組み合わせた統計GIS[※]の活用方法を学ぶ
 - 第4週: 統計オープンデータの高度利用
統計API機能[※]の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ
- ※平成30年1月のリニューアルを反映させた講義内容

以下の講座紹介用ウェブサイトから, どなたでも受講登録が可能ですので, 是非御活用ください。

<http://gacco.org/stat-japan3>



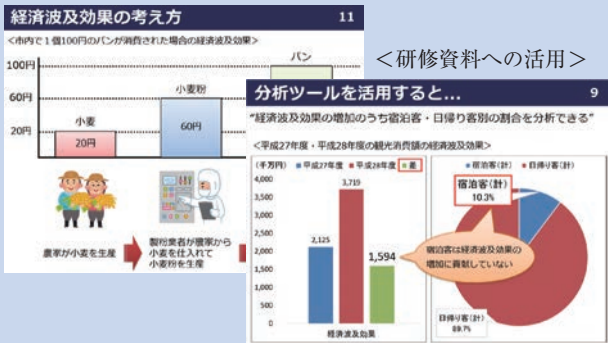
第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」の受賞団体の決定

総務省統計局では、客観的な統計データに基づいた確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、第3回「地方公共団体における統計利活用表彰」を行いました。審査の結果選ばれた、総務大臣賞、統計局長賞、特別賞及び奨励賞をご紹介します。

【総務大臣賞：神奈川県横須賀市】

横須賀市のEBPM^{※1}推進に寄与する経済波及効果分析ツールの開発と全庁的活用

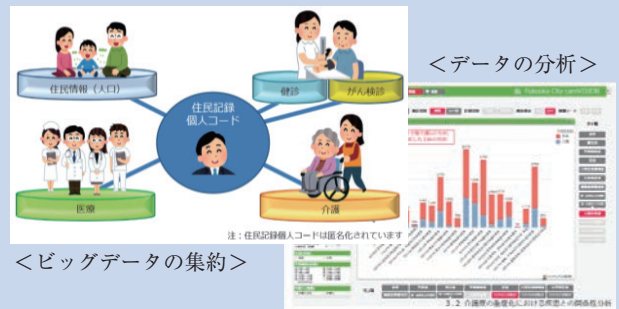
横須賀市独自の経済波及効果分析ツールを開発して、政策の検証・見直しや、新規政策の立案に幅広く活用



【統計局長賞：福岡県福岡市】

福岡市地域包括ケア情報プラットフォーム

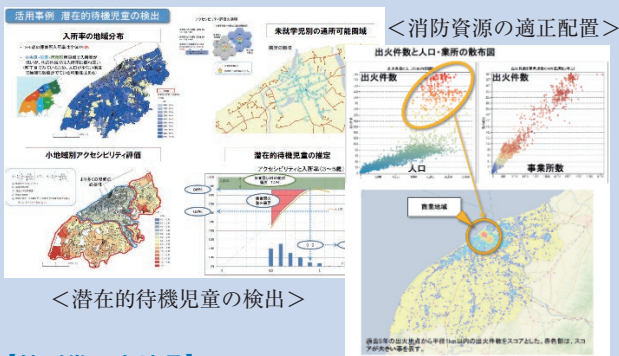
医療や介護に関わるビッグデータを集約し、人の一生（ライフログ）を踏まえた分析と医療・健診・介護の相関分析を可能にしたデータ分析システムを構築し、効果的な施策立案を支援



【特別賞：新潟県新潟市】

公的統計とGIS^{※2}を用いた人口減少を前提とする都市経営

公的統計とGIS^{※2}を用いて行政サービスの現状や将来を定量的に評価、地域間や世代間の公平性を視点とする「選択と集中」による合理的な公共施設の配置の立案

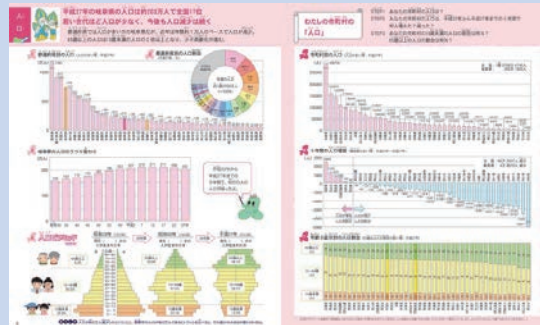


【特別賞：岐阜県】

小学4・5・6年生のための統計学習副読本

岐阜県の統計データを用いて県の魅力や特徴を楽しく学ぶことができ、アンケート調査を用いた課題解決プロセスの学習ができる学習指導要領に沿った補助教材を教育委員会と連携し作成。県内の全ての小学4年生に配布

＜様々な統計データをグラフ表示＞

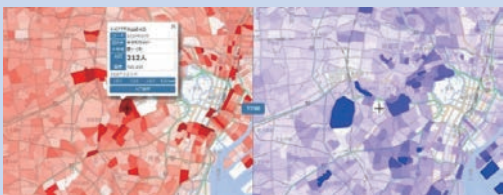


【特別賞：宮崎県】

ひなたGIS^{※2}による統計データの可視化とデータ活用の推進

e-Stat^{※3}等の統計データとAPI^{※4}で連携し、様々なデータを自由に地図上に重ね合わせることで地域の特色や課題等を「見える化」する地理情報システムを提供

＜小地域人口の65歳以上と15歳未満を比較＞

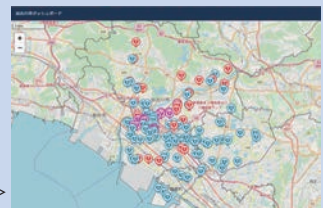


【奨励賞：兵庫県加古川市】

行政情報ダッシュボードの構築

避難所等の安全安心に関する情報を始め様々なデータとe-Stat等の外部機関の情報を重ねて表示し、各地域の状況を一元的に把握できる機能を備えた「行政情報ダッシュボード」を構築

＜行政情報等のオープンデータを可視化＞



※1 Evidence-based policy making (証拠に基づく政策立案)の略
 ※2 Geographic Information System (地理情報システム)の略

※3 「政府統計の総合窓口」。政府統計のポータルサイト。
 ※4 Application Programming Interfaceの略

中核市発とうけい通信⑤

すべての人に“やさしいまち”をめざして

明石市政策局政策室

やさしい中核市・明石

明石市は、東経135度の日本標準時子午線上にあるまちです。1919年(大正8年)11月1日に全国で81番目、兵庫県下で4番目の市として誕生しました。立地は、瀬戸内海に面しており、明石海峡をはさんで淡路島を眼前に臨むことができます。気候は温暖で、古くは万葉歌人柿本人麻呂によって多くの歌が詠まれた風光明媚な地です。

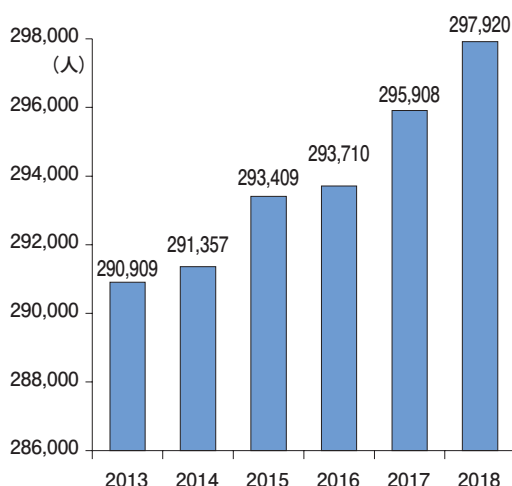
明石市では、「住みたい、住み続けたいまち」の実現をめざし、明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、明石の地方創生を象徴する目標として、「人口30万人」、「出生数 年3,000人」、「本の貸出冊数 年300万冊」のトリプルスリーを掲げ、「こどもを核としたまちづくり」を重点的に進めています。さらに、障害者、高齢者を始め、誰もが安心して暮らすことができる「やさしいまちづくり」を推進しています。

こうした取組の結果、若い子育て世帯の転入が増加するとともに、出生数が2015年から3年連続で増加しており、人口は、2013年から6年連続で増加しています。特に、2017年の人口動態は兵庫県下でトップの2,380人の大幅な増加となりました。

また、人口増により地域経済の活性化や市税収入の増加など市財政にも好影響を与え、施策展開のための財源も含め、持続的な発展につながる好循環が拡大傾向にあります。

本年4月1日、中核市として新たなステージに移行し、一層の権限と責任を持って、すべての人にやさしいまちづくりを推進しています。

明石市の人口(各年10月1日現在)



注) 2015年は国勢調査による人口、その他の年は国勢調査に基づいて明石市で推計した人口。

こどもを核としたまちづくり

明石の全ての子供たちの育ちを、社会全体で支えるという考えの下、関西初となる「第2子以降の保育料完全無料化(所得制限なし)」を始め、「中学3年生までの医療費完全無料化(所得制限なし)」など積極的な子育て支

援を行うとともに、中学校給食や小学1年生での1クラス30人学級を実施するなど教育環境の充実を図っています。

また、子供の不安や心配を早期に把握して支援につなげる「気づきの地域拠点」として、明石版こども食堂を全28小学校区に開設しています。

さらに、2019年4月には、こどもを核としたまちづくりの集大成として、関西の中核市では初となる児童相談所(明石こどもセンター)を開設します。



こども食堂の様子



明石こどもセンター(イメージ)

やさしいまちづくり

障害者、高齢者を始め、誰もが安心して暮らすことができる「やさしいまちづくり」を推進していくため、手話言語・障害者コミュニケーション条例や障害者配慮条例を始め、犯罪被害者支援や子供の養育支援、無戸籍者支援などにも取り組んでいます。そうした中、昨年には、国の「共生社会ホストタウン」の第一陣に登録されました。

さらに、やさしいまちづくりの取組を加速させるため、「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインのまちづくり」を2つの柱とする、(仮称)あかしインクルーシブ条例の制定に向けて取り組むなど、子供から高齢者まで、また、マイノリティや社会的弱者など、全ての人たちが大切にされる共生社会を目指しています。

市制施行100周年

明石市は、2019年に市制施行100周年を迎えます。2019年11月23日、24日に開催する「さらにやさしいB-1グランプリ for SDGs」を始め、明石城築城400周年を含めた様々な記念事業を実施します。

この大きな節目を、まちの魅力を更に高め、広く市内外に発信する機会とし、やさしいまちづくりが、次の世代へ、また日本全国へと広がるように取り組んでいきます。

元気でやさしいまち明石に是非お越しください。



昨年のB-1グランプリ西日本大会 in 明石

最近の数字

| | | 人口 | | 労働・賃金 | | | 産業 | | 家計(二人以上の世帯) | | 物価 | |
|-----------|--------|------------------|------|------------------|--------------------|------------------------|------------------|----------------|------------------------------|---------|---------|-------|
| | | 総人口 (推計による人口) | 就業者数 | 完全失業率 (季節調整値) | 現金給与総額 (規模5人以上) | 鉱工業 生産指数 (季節調整値) | サービス産業 の月間売上高 | 1世帯当たり 消費支出 | 1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯) | 消費者物価指数 | | |
| | | | | | | | | | | 全国 | 東京都区部 | |
| | | 千人(Pは万人) | 万人 | % | 円 | H22=100 | 兆円 | 円 | 円 | H27=100 | H27=100 | |
| 実数 | H30. 5 | 126,466 | 6698 | 2.2 | 275,508 | 104.4 | 30.4 | 281,307 | 324,446 | 101.0 | 100.5 | |
| | 6 | P12652 | 6687 | 2.4 | 447,206 | 102.5 | P31.7 | 267,641 | 654,961 | 100.9 | 100.5 | |
| | 7 | P12659 | 6660 | 2.5 | 376,619 | 102.3 | P31.5 | 283,387 | 485,326 | 101.0 | 100.6 | |
| | 8 | P12649 | 6682 | 2.4 | 276,123 | 102.5 | P31.4 | 292,481 | 422,636 | 101.6 | 101.3 | |
| | 9 | P12642 | 6715 | 2.3 | P270,256 | P101.4 | ... | ... | 271,273 | 365,446 | 101.7 | 101.4 |
| | 10 | P12644 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | P101.7 | |
| 前年 同月比 | H30. 5 | - | 2.3 | * -0.3 | 2.1 | * -0.2 | 0.6 | -3.9 | 0.2 | 0.7 | 0.4 | |
| | 6 | - | 1.6 | * 0.2 | 3.3 | * -1.8 | P1.2 | -1.2 | 4.8 | 0.7 | 0.6 | |
| | 7 | - | 1.5 | * 0.1 | 1.6 | * -0.2 | P1.7 | 0.1 | -2.0 | 0.9 | 0.9 | |
| | 8 | - | 1.7 | * -0.1 | 0.8 | * 0.2 | P1.1 | 2.8 | -0.9 | 1.3 | 1.2 | |
| | 9 | - | 1.8 | * -0.1 | P1.1 | * P-1.1 | - | -1.6 | -1.8 | 1.2 | 1.2 | |

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値。平成30年1月以降の各月の前年同月比は、平成30年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整した変動調整値。

掲示板

統計関係の主要日程 (2018年11月～12月)

《会議及び研修関係等》

| 時期 | 概要 | 時期 | 概要 |
|-------|---------------------------------------|-------|------------------------------------|
| 11月8日 | 統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(11月)」開講(～9日) | 12月5日 | 統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(12月)」開講(～7日) |
| 14日 | 統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(11月)」開講(～16日) | 17日 | 第129回統計委員会 |
| 19日 | 第68回全国統計大会 | 〃 | 統計研修 統計専門課程「政策立案と統計」開講(～19日) |
| 20日 | 統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(11月追加)」開講(～21日) | 19日 | 統計研修 統計専門課程「政策評価と統計」開講(～21日) |
| 22日 | 第128回統計委員会 | | |

《調査結果の公表関係》

| 時期 | 概要 | 時期 | 概要 |
|-------|--|-----|---|
| 11月2日 | 小売物価統計調査(ガソリン)平成30年10月分公表 | 20日 | 人口推計(平成30年7月1日現在確定値及び平成30年12月1日現在概算値)公表 |
| 6日 | 労働力調査(詳細集計)平成30年(2018年)7～9月期平均(速報)公表 | 21日 | 消費者物価指数(全国：平成30年(2018年)11月分)公表 |
| 〃 | 家計調査(家計収支編：平成30年(2018年)9月分及び7～9月期平均)公表 | 〃 | 小売物価統計調査(全国：平成30年(2018年)11月分)公表 |
| 〃 | 家計消費状況調査(支出関連項目：平成30年9月分及び平成30年7～9月期平均 ICT関連項目：平成30年7～9月期平均)公表 | 27日 | 住民基本台帳人口移動報告(平成30年(2018年)11月分)公表 |
| 〃 | 消費動向指数(C T I)平成30年9月分及び7～9月期平均公表 | 28日 | 労働力調査(基本集計)平成30年(2018年)11月分(速報)公表 |
| 12日 | 個人企業経済調査(動向編)平成30年7～9月期結果(速報)公表 | 〃 | 消費者物価指数(東京都区部：平成30年(2018年)12月分(中旬速報値)及び平成30年(2018年)平均(速報値))公表 |
| 20日 | 人口推計(平成30年6月1日現在確定値及び平成30年11月1日現在概算値)公表 | 〃 | 小売物価統計調査(東京都区部：平成30年(2018年)12月分)公表 |
| 21日 | 個人企業経済調査(動向編)平成30年7～9月期結果(確報)公表 | 〃 | サービス産業動向調査(平成30年10月分速報及び平成30年7月分確報)公表 |
| 22日 | 消費者物価指数(全国：平成30年(2018年)10月分)公表 | 31日 | 統計トピックス 「亥年生まれ」と「新成人」の人口 -平成31年 新年にちなんで-公表 |
| 〃 | 小売物価統計調査(全国：平成30年(2018年)10月分)公表 | | |
| 〃 | 第68回日本統計年鑑(平成31年)刊行 | | |
| 27日 | 住民基本台帳人口移動報告(平成30年(2018年)10月分)公表 | | |
| 30日 | 労働力調査(基本集計)平成30年(2018年)10月分(速報)公表 | | |
| 〃 | 消費者物価指数(東京都区部：平成30年(2018年)11月分(中旬速報値))公表 | | |
| 〃 | 小売物価統計調査(東京都区部：平成30年(2018年)11月分)公表 | | |
| 〃 | サービス産業動向調査(平成30年9月分速報、平成30年7～9月期速報、平成30年6月分確報及び平成30年4～6月期確報)公表 | | |
| 12月7日 | 家計調査(家計収支編：平成30年(2018年)10月分)公表 | | |
| 〃 | 家計消費状況調査(支出関連項目：平成30年10月分)公表 | | |
| 〃 | 消費動向指数(C T I)平成30年10月分公表 | | |
| 〃 | 小売物価統計調査(ガソリン)平成30年11月分公表 | | |

編集発行  総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係
TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp
ホームページ <https://www.stat.go.jp/>
御意見・御感想をお待ちしております。